

市の取り組みの満足率1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」

令和4年度「三島市市民意識調査」調査結果の特徴について

市民の皆さまの意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。

ここがポイント！

- 「市への愛着率」87.4%は、調査開始以降、最高値となりました。
- 将来都市像は「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」が1位でした。
- 市の取り組みの満足率1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」69.3%。「ガーデンシティみしま」関連の項目を中心に高い満足率が維持されています。
- 自治会・町内会での活動に参加している人が増えています。
- 同報無線で火災のお知らせや時報チャイムを今後も継続すべきと考えている人が多数でした。

1 調査方法

18歳以上の市民から単純無作為抽出した2,000人を対象として、5月12日から5月31日までの期間、郵送及びインターネットで調査しました。有効回答数は1,161件（内、インターネットによる回答371件）でした。有効回答率は58.1%で、前年より0.2ポイント減少しましたが、インターネットによる回答が84件増えました。

2 調査の内容

【継続調査：15項目】

「居住環境」、「市の取り組みの満足度」、「各種計画の指標に関する項目」「幸福感」、「健康」、「自治会・町内会での活動」、「環境への取り組み」、「広報活動」、「楽寿園」、「災害対策」、「公共交通」、「文化的環境」、「障がいのある人への理解」、「男女共同参画」、「ドメスティック・バイオレンス」

【新規調査：1項目】

「性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）」

3 令和4年度の結果の特徴

特徴1 「市への愛着率」や「住みやすさ」が高くなっています。

- (1) 「市への愛着率」87.4%（前年度86.8%）は、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。（市への愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」）
- (2) 「住みやすさ」91.6%（前年度90.7%）も、高い数値が維持されています。（住みやすさ＝「非常に住みやすい」＋「どちらかというに住みやすい」）

特徴2 保健、医療、福祉のまちづくりへの期待が継続しています。

- (1) 将来都市像の調査では、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」への期待が継続しています。

将来都市像		R4（前年比）	R3（順位）	R1（順位）
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち	28.7（-2.5ポイント）	31.2（1位）	30.6（1位）
2位	自然や環境に優しいやすらぎのあるまち	18.4（-0.6ポイント）	19.0（2位）	19.4（2位）
3位	災害に強く安全で安心して暮らせるまち	12.4（+0.5ポイント）	11.9（3位）	12.3（3位）

※R2は未調査

特徴3 市の取り組みの満足率は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」が高くなっています。

(1)満足率上位3項目

「ガーデンシティみしま」の関連項目を中心に高い満足率が維持されています。

(2)不満率上位3項目

都市基盤関連の項目の不満率が高くなっています。

▼項目別満足率(=「満足」+「やや満足」)

項目別満足率		分類	R4 (前年比)	R3 (順位)	R2 (順位)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	69.3 (+1.5ポイント)	67.8 (1位)	70.6 (1位)
2位	公園・水辺空間の整備	都市基盤	58.7 (+0.8ポイント)	57.9 (2位)	63.0 (2位)
3位	「広報みしま」による市政情報の提供	協働・ 行財政	54.7 (-0.8ポイント)	55.5 (3位)	57.6 (3位)

▼項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

項目別満足率		分類	R4 (前年比)	R3 (順位)	R2 (順位)
1位	歩道の整備	都市基盤	41.1 (-3.1ポイント)	44.2 (1位)	37.9 (1位)
2位	三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	38.8 (+1.1ポイント)	37.7 (3位)	37.3 (2位)
3位	生活道路の整備	都市基盤	38.5 (-0.9ポイント)	39.4 (2位)	35.7 (3位)

特徴4 自治会・町内会での活動に参加している人が増えています。

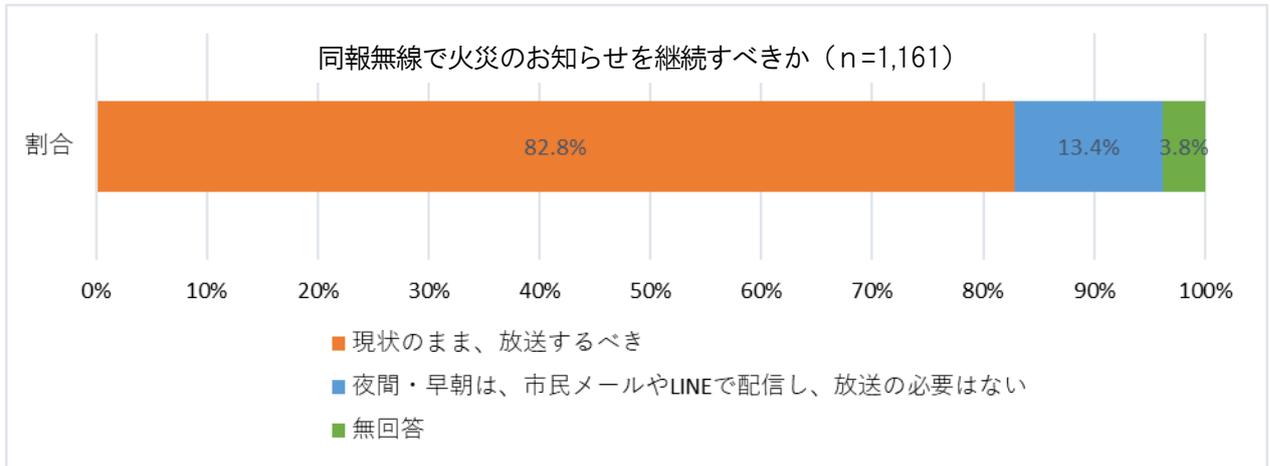
『あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか』の問いに対し、参加しているものに回答した割合は、72ポイントで、前年より1.5ポイント増えています。参加している活動は、美化活動(ゴミ、町内清掃等)が4.3ポイント増加し、地域の情報伝達(回覧)も3.5ポイント増えています。

	R4 (前年比)	R3	R2
自治会・町内会活動参加率	72 (+1.5ポイント)	70.5	69.3

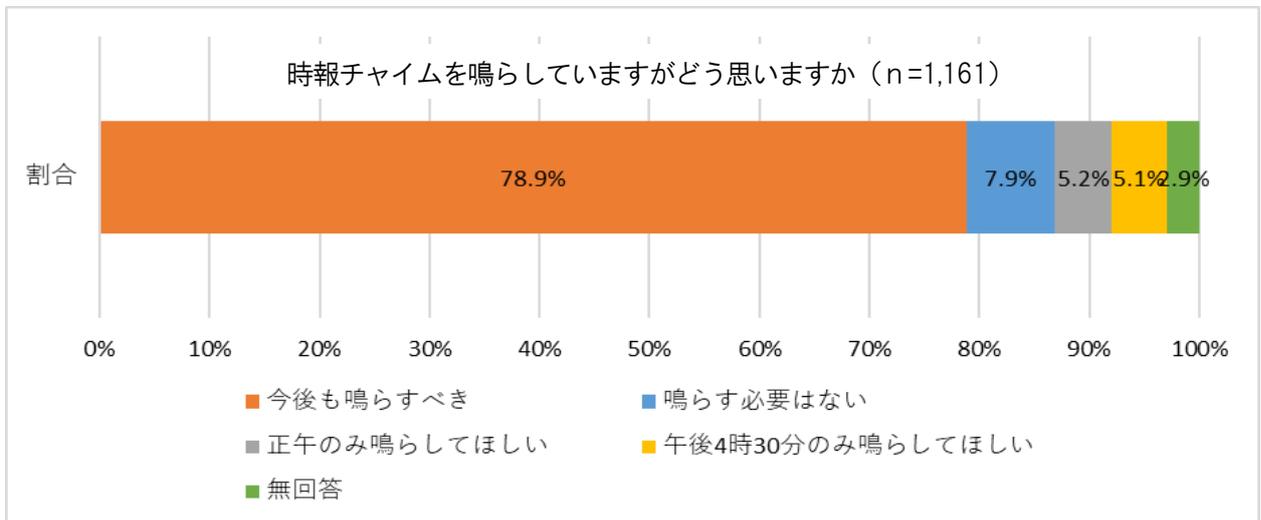
	R4	R3	R2
1位	美化活動(ゴミ、町内清掃等) (+4.3ポイント)	42.9 (1位)	28.3 (4位)
2位	地域の情報伝達(回覧) (+3.5ポイント)	41.5 (2位)	42 (1位)
3位	防災訓練 (-1.1ポイント)	38.5 (3位)	41.4 (2位)

特徴5 同報無線で火災のお知らせと時報チャイムを今後も継続すべきと考えている人が多数でした。

『同報無線では、火災のお知らせに限り、夜間・早朝（午後9時～翌朝7時）でもサイレン吹鳴と発生場所のお知らせをしています。』の問いに対し、「現状のまま、放送すべきである」と回答した人は、82.8%、「夜間・早朝は、市民メールやLINEで配信し、放送の必要はない」と回答した人は、13.4%となりました。



『同報無線では、正午と午後4時30分に時報チャイムを鳴らしていますが、どう思いますか。』の問いに対し、「今後も鳴らすべきである」と回答した人は78.9%、「鳴らす必要はない」と回答した人は7.9%、「正午のみ鳴らしてほしい」と回答した人は5.2%、「午後4時30分のみ鳴らしてほしい」と回答した人は5.1%となりました。

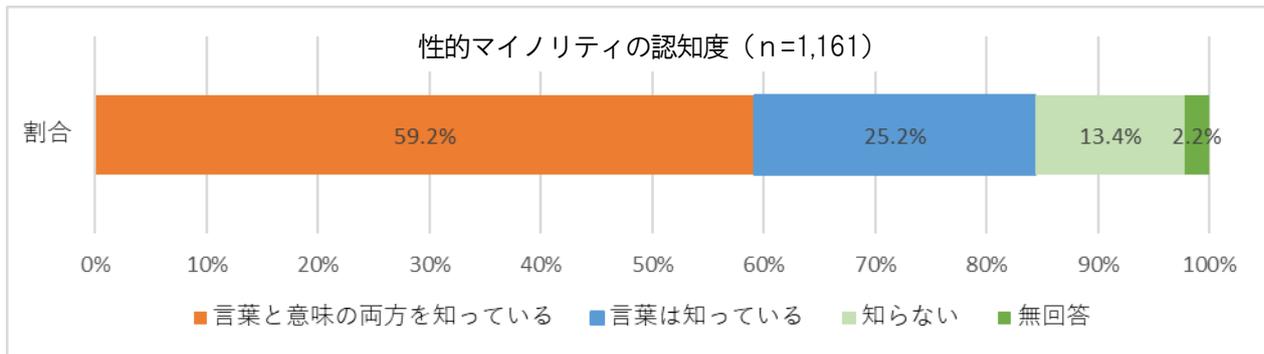


令和4年度新規調査項目について

(1) 性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）について

性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）の認知度や生きづらさを解消する取組への考えを調査しました。

性的マイノリティの認知度は「言葉と意味の両方を知っている（59.2%）」の割合が最も高く、次いで「言葉は知っている（25.2%）」、「知らない（13.4%）」の順となりました。



(2) 性的マイノリティの方々の生きづらさを解消する取組への考えについて

性的マイノリティの方々に対する差別や偏見をなくし、生きづらさを解消するために、次のような取組等を行うことについての考えを調査しました。

市民に対する啓発は、「賛成（41.3%）」「やや賛成（39.2%）」を合わせた賛成の考えが80.5%となりました。

企業に対する啓発は、「賛成（46.3%）」「やや賛成（34.5%）」を合わせた賛成の考えが80.8%となりました。

学校における教育・啓発は、「賛成（49.3%）」「やや賛成（32.1%）」を合わせた賛成の考えが81.4%となりました。

相談窓口の設置・周知は、「賛成（55.9%）」「やや賛成（30.0%）」を合わせた賛成の考えが85.9%となりました。

申請書類等の性別記載欄の見直しは、「賛成（40.7%）」「やや賛成（35.0%）」を合わせた賛成の考えが75.7%となりました。

パートナーシップを証明する制度の創設は、「賛成（44.1%）」「やや賛成（35.6%）」を合わせた賛成の考えが79.7%となりました。

